

VR セレモニー利用規約

本規約の目的

第1条(本規約の目的)

本規約は、株式会社丹青社(以下「当社」といいます。)の提供するオンラインサービスである VR セレモニー(以下「本サービス」といいます。)の利用方法について定めるものです。

第2条(用語の定義)

本規約においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) 申込者:当社に本サービスの提供を申し込む個人、法人、機関等
- (2) 利用者:利用契約を販売会社と締結し本サービスの提供を受ける個人、法人、機関等
- (3) 販売会社:本サービスを利用者に販売する事業者
- (4) 利用契約:本規約に基づき販売会社と利用者との間に締結される本サービスの提供に関する契約
- (5) 来訪者:利用者、および、利用者から招待を受けた来訪者からの招待に従い、利用者が作成した Web ページに接続する個人、法人、機関等
- (6) セレモニー:当社が提供する環境上に、利用者が一定期間作成する Web ページ

第3条(本規約の適用)

当社は、利用契約の内容に従って本サービスの提供を行い、利用者は利用契約および当社が定める条件にてこれを利用するものとします。なお、利用規約に改定があった場合には、申込者による申込時点での利用規約が適用されるものとします。

第4条(利用契約の申込み)

申込者は、本規約の内容を承諾の上、販売会社の定める方法により本サービスの利用を申し込むものとし、販売会社が申込みを承諾したときに利用契約が成立します。

第5条(サービスの範囲)

1. 当社は、利用者が Web ページ上でセレモニーを開催するために必要な環境および Web ページを作成するのに必要なツールを提供します。利用者は自己の所有する端末機器(スマートフォン、携帯電話、パソコン等をいい、以下「端末機器」といいます。)から電気通信回線を経由して当社の指定サーバに接続し、本サービスを利用することができます。
2. 利用者は、自己の招待する来訪者に対して利用者に割り当てられた URL を通知し、

本サービスを利用させることができます。

第6条(利用制限)

1. 本サービスは、利用者がセレモニーを開催することを目的として提供されるものであり、有償無償とを問わず来訪者以外の第三者に使用させることはできません。
2. 利用者および来訪者による本サービスの利用は端末機器から当社指定の URL へ接続することにより行われるものとし、本サービスを構成するソフトウェア自体をダウンロードする、コピーする等の方法により本サービスを構成するソフトウェアを入手することはできません。

第7条(本サービスの変更)

当社は、利用者の利用期間中においても本サービスの機能追加、改善を目的として、当社の裁量により本サービスの一部の追加・変更を行うことがあります。ただし、当該追加・変更によって、変更前の本サービスのすべての機能・性能が維持されることを保証するものではありません。

第8条(ユーザ ID)

1. ユーザ ID は、当社が定める方法および使用条件に基づいて利用者に対して付与されます。
2. 利用者は、自らの管理責任により、ユーザ ID を不正使用されないよう管理するものとします。
3. 利用者は、当社が定める方法および使用条件を除きユーザ ID を第三者に開示、貸与することはできません。
4. 当社は、当社の責めに帰すべき事由による場合を除き、ユーザ ID の不正利用によって利用者が生じた損害について責任を負いません。
5. 当社は、当社の責めに帰すべき事由による場合を除き、ユーザ ID の認証を行った後に行われた本サービスの利用行為については、すべて利用者に帰属するものとみなすことができます。

第9条(データ管理)

1. 利用者は、本サービスの利用に関連して入力、提供または伝送するデータ等について、必要な情報は自己の責任で保全しておくものとします。
2. 当社は、利用者が利用する情報に関して、本サービスを提供する設備等の故障等により滅失した場合において復元の義務を負うものではありません。

第10条(個人情報の管理)

当社は、本サービスに入力されるデータに個人情報が含まれていた場合、本サービス提供の目的以外で利用しないものとし、個人情報の保護に関する法律および当社個人情報保護方針 (<https://www.tanseisha.co.jp/privacy>) に基づいて、紛失・破壊・改竄・漏洩等の危険から保護するための合理的な安全管理措置を講じ、厳重に管理するものとし、詳細は本サービスのプライバシーポリシーを参照ください。

当社は、本サービスの利用期間終了後、終了時点を基点として一定期間経過後に個人情報に関して、一切のコピーを残すことなく、当社責任のもとで速やかに破棄します。

第 11 条(本サービスの利用料金、支払方法)

本サービスの利用料金およびその支払方法は、利用契約に定めるとおりとします。

第 12 条(禁止行為)

利用者は、自らまたは来訪者が、本サービスを利用するにあたり、以下の行為を行わないことを確約します。

- (1) 法令に違反する行為またはそのおそれがある行為
- (2) 公序良俗に反する行為
- (3) 他の利用者の利用を妨害する行為またはそのおそれがある行為
- (4) 本サービスを構成するハードウェアまたはソフトウェアへの不正アクセス行為、クラッキング行為その他設備等に支障を与える等の行為
- (5) 本サービスの提供を妨害する行為またはそのおそれがある行為
- (6) 本サービスを構成するソフトウェアの解析、リバースエンジニアリングその他ソースコードを入手しようとする行為
- (7) 他人のユーザ ID を使用する行為またはその入手を試みる行為
- (8) サインイン用の URL を他者に共有する行為またはその入手を試みる行為
- (9) 他の利用者のデータを閲覧、変更、改竄する行為またはそのおそれがある行為
- (10) 本サービスを通じて他の来訪者とコミュニケーションを図る行為

第 13 条(知的財産権)

本サービスを構成する有形・無形の構成物(ソフトウェアプログラム、データベース、アイコン、画像、文章、マニュアル等の関連ドキュメント等を含む。)に関する著作権を含む一切の知的財産権、その他の権利は、当社または当社に許諾した第三者に帰属します。

第 14 条(侵害の場合の責任)

利用者は、利用者が Web ページ上に組み込む画像、テキスト等の素材に関する著作権をはじめとする知的財産権について、第三者の権利を侵害するものでないことを保

証するものとします。利用者が本項に違反し、第三者からクレームその他の請求を受けた場合には、利用者は自らの責任で処理するものとします。

第 15 条(自己責任の原則)

1. 利用者は、本サービスの利用および本サービス内における一切の行為(情報の登録、閲覧、削除、送信等)およびその結果について、一切の責任を負います。
2. 利用者は、本サービスの利用に伴い、自己の責めに帰すべき事由で第三者に対して損害を与えた場合、または第三者からクレーム等の請求がなされた場合、自己の責任と費用をもって処理、解決するものとします。
3. 利用者は、利用者がその故意または重大な過失により当社に損害を与えた場合、当社に対して、当該損害の賠償を行うものとします。

第 16 条(保証の制限)

1. 当社は、本サービスが、重要な点において、実質的に正常に提供されることを保証します。
2. 当社は、本サービスを構成するソフトウェアにバグ等の不具合のないことを保証するものではありません。また、当社は、端末機器において他のソフトウェア等が使用しないし併用された場合の、本サービスの正常な動作を保証するものではありません。
3. 本サービスはクラウドサービスおよびオープンソースを利用して作成されています。そのため、当社はクラウドサービス上での不具合やエラー、またはオープンソース側の変更があった場合および障害が起こった場合などの正常な動作を保証するものではありません。
4. 本サービスは、来訪者の利用する端末機器や利用するソフトウェアによっては本サービスへの接続ができない、または画面が表示されない(レイアウトが崩れて表示される、画像が表示されないことなどのトラブルを含みます)ことがあります。当社は、この場合において正常な動作を保証するものではありません。

※ 推奨環境

【PC】

OS:Windows10 以上、MacOS10.15 以上

ブラウザ: Google Chrome の最新版

【タブレット】

OS:iOS14 以上、Android10 以上

ブラウザ: Google Chrome の最新版

【スマートフォン】

OS:iOS14 以上、Android10 以上

ブラウザ: Google Chrome の最新版

対象 OS に対応していない端末や古いブラウザを使用している場合は、Web アプリが正常に動作しない可能性があります。

また、お客様のご利用環境によっては、当サイトが提供するサービスを一部ご利用できない場合があります。

5. 本条は、本サービスに関する唯一の保証について述べたものです。

第 17 条(免責)

当社は、本規約の各条項に従って制限された限度においてのみ、本サービスについての責任を負うものとします。当社は、本規約の各条項において保証しないとされている事項、責任を負わないとされている事項、利用者の責任とされている事項については、一切の責任を負いません。

第 18 条(本サービスの休止)

1. 当社は、定時にまたは必要に応じて、保守作業のために、本サービスを一時的に休止することができるものとします。

2. 当社は以下の各号のいずれかに該当する場合には、本サービスの提供を停止することがあります。

- ① 本サービス、その他本サービスを提供するために必要なシステムのメンテナンス、電気通信設備の保守上または工事上やむを得ないとき、またこれらにやむを得ない障害が発生したとき
- ② 本サービスに著しい負荷や障害が与えられることによって正常なサービスを提供することが困難である場合、または困難であると当社が判断したとき
- ③ データの改ざん、ハッキング等本サービスを提供することにより、お客様、第三者等が著しい損害を受ける可能性を弊社が認知したとき
- ④ 電気通信事業者または国内外の電気通信事業者による電気通信サービス、電力会社による電力供給サービス、その他の公共サービスの提供が停止されることで、本サービスの提供が困難になったとき
- ⑤ 地震・津波・台風・落雷その他の天災地変、戦争、内乱、法令の制定改廃その他不可抗力等により、非常事態が発生した場合、またはそのおそれがあるとき
- ⑥ その他、弊社が本サービスの提供を停止、緊急停止する必要があると判断した場合

3. 当社が本サービスを停止すること、ならびに停止できなかったことによってお客様、および第三者が損害を被った場合も、当社は一切の賠償責任を負いません。

第 19 条(本サービスの終了)

1. 当社は、本サービスの一部または全部を何時でも終了できる権利を有します。
2. 本サービスの一部または全部を終了する場合、当社は終了する 3 か月以上前に契約者に対して通知を行います。
3. 当社が予期し得ない事由または法令・規則の制定改廃、天災等のやむを得ない事由で、サービスを終了する場合において 3 か月以上前の通知が不可能な場合であっても、当社は可能な限り速やかに契約者に対して通知を行います。
4. 本条に定める手続に従って通知がなされたときは、当社は本サービスの終了の結果について何ら責任を負いません。

第 20 条(不可抗力)

当社は、天災、法令・規則の制定・改廃、その他の不可抗力によって本サービスの履行が妨げられた場合には、利用契約その他の一切の規定にかかわらず、かかる不可抗力によって利用者に生じた損害について一切の責任を負担しません。

第 21 条(準拠法および裁判管轄)

利用契約に関する事項については、日本法を準拠法とし、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。